

大賞は「段ボール製家具」

学生版ビジコン

千葉銀行と横浜銀行は16日、学生版のビジネスコンテストの表彰式を千葉銀本



大賞を受賞した上田さん(左)に千葉銀の篠崎取締役専務執行役員が賞状を手渡した

千葉銀、横浜銀と初の共催

店(千葉市)で開いた。大このほか、準大賞や各種ア賞には東大の上田航大さん(19)が代表を務めるグルー

プによる「段ボール製の家具ブランド」が選ばれた。大賞に選ばれたプランは、段ボール製の椅子やテーブルなどの寸法を1センチ単位で受注する。狭いスペースにも置いて、処分する際に資源ごみとして処理できるため環境に優しいのも特徴だという。引越しシーズンに合わせて今春から本格発売する予定で、上田さんは「1年後には月10、20件の売り上げを目指したい」と意気込みを語った。

横浜銀の鈴木嘉明取締役執行役員は「受賞プランは独創性や先進性に富んだもの」と評価。千葉銀の篠崎忠義取締役専務執行役員は「さらにアイデアを深化させてビジネスにしてほしい」と激励した。

コンテストは千葉銀の創立70周年記念事業として2012年度から開始。19年の業務提携を機に、今回初めて横浜銀と共催した。応募件数は過去最多となる84件だった。